



鶴岡市議会議員〔無会派・市民文教常任委員会〕

田中ひろし 市政報告

2015
NOV.

＜連絡先＞ 事務所 〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町 13-35 メール：officefon@gmail.com
TEL 0235-22-0068 FAX 0235-22-0098
議会事務局 〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町 9-25 鶴岡市役所 2階
TEL 0235-25-2111 FAX 0235-24-9071

5年前の2010年12月定例会において、市民歌制定を求める一般質問をした際の総務部長答弁は「市としての一体感の醸成など、制定の意義は深い。未永く愛唱される、価値あるものにするべく検討したい」という内容でした。しかしその後は放置され、市制10周年の今年度になって制定委員会が組織されました。

8月31日締切で公募していた歌詞は全国各地から130件ほど集まりました。9月2日の第三回制定委員会では10月15日の委員会で優秀作品を決定するスケジュールが承認されたも



の、複数の委員から「130編から10編に絞るために、もっと時間がほしい」「委員が一堂に会して、1つ1つの作品について議論していくべきではないか」など、じっくり選びたいという意見が出されました。

市制10周年の今年度中に完成させたいのならば、なぜもっと前から腰を据えて取り組まなかったのか？「未永く愛唱される、価値ある」市民歌を創るために、拙速の感が否めない現状を残念に思います。

＜今後のスケジュール＞

130編から各委員が10編ずつ選び、9月25日の委員会で二次選考に進む作品を決定。その中から各委員が3編を選び、10月15日の委員会で最優秀作品（＝採用作品）1編と優秀賞2編を決定する。なお作曲については、公募か委

「未永く愛唱される、価値ある」市民歌を

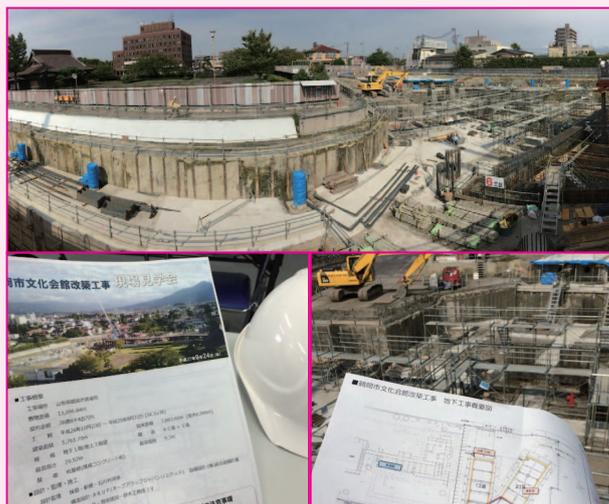
嘱かなどを含めて現在は白紙。10月15日の委員会で、歌詞決定後に協議される予定。

＜歌詞の応募状況（最終）について＞

- ・応募件数 133件（H27年9月4日確定）
- ・性別＝男性 102件 / 女性 31件
- ・お住まい＝鶴岡市 30件
北海道 6件 / 東北 12件 / 新潟県 4件
関東 37件 / 山梨県 4件 / 愛知県 5件
滋賀県 8件 / 大阪府 5件 / 九州 5件
- ・年代＝10代 1件 / 20代 4件 / 30代 8件
40代 19件 / 50代 17件 / 60代 34件
70代 37件 / 80代 12件 / 90代 1件

■新文化会館工事現場視察

9月24日、鶴岡市文化会館改築工事の現場を市議会で視察しました。工事責任者の説明によれば「進捗は順調」とのことでした。年内は基礎工事で、まだ建物の姿はありません。想像以上に地下が広く深く掘られており、新しい文化会館の規模の大きさを再認識しました。なお、10月12日には市民向けの見学会も開催されました。



定例会報告

平成27年9月定例会を振り返ります。

なお、鶴岡市議会ホームページから、本会議の映像や会議録をご覧ください。

→ <http://www.city.tsuruoka.yamagata.jp/gikai/>

1. 選挙権の18歳引き下げについて

昨日の酒田市長選挙の投票率は59.57%。衆議院選挙の投票率をみても90年代以来低落傾向が強く、昨年の衆議院選挙は過去最悪の52.66%で、20歳代は32.58%だった。若年層の投票率アップのために、選挙をアウトリーチしていく発想で、期日前投票所を大学や高専、商業施設、駅などの場所に設けてみてはどうか。18歳未満の子どもたちの目にも触れるため、好影響も期待できる。

投票へのインセンティブとして、投票済証を持参した人に対して、市内の飲食店などで特典を設けることはできないか。ユネスコ食文化創造都市の盛り上げ、地元経済の活性化への波及効果もあるのでは。小・中学生から主権者としての意識を高めるため、ふだんは倉庫にしまっている投票箱や記載台を学校に貸し出してはどうか。生徒会長の選挙や、給食メニューの人気投票などに活用できる。議場も空いている時間が多いので、リーダー研修などの機会を利用して議場を活用した子ども議会を開催してはどうか。

◎選挙管理委員会委員長の答弁



公職選挙法の改正は去る6月17日に参議院本会議で成立し、平成28年7月25日に任期満了を迎える参議院議員通常選挙から実施される予定。選挙権年齢の18歳引き下げに伴い、18歳、19歳の方々が新たな有権者として加わり、全国で240万人、本市では約2,500人ほどが選挙人名簿に登録される見込みだ。本市での20歳代の投票率は、昨年12月の衆議院選挙が36.97%、4月の県議会議員選挙が31.23%と低調。現在、鶴岡市の期日前投票所は、本所、地域庁舎に各1カ所ずつの計6カ所、そのほか温海地域に5カ所、櫛引地域に2カ所設置しており、合計13カ所。二重投票防止のためのシステム整備や投票所を運営する担当者の確保などが必要。投票済証を持参した人への特典については「投票の秘密」に触れるのではないかな。一部の事業者の営利活動にも利用されないか。

◎教育長の答弁

小・中学校において本物の投票箱や記載台を生徒会役員選挙や模擬選挙に活用することは政治や選挙への関心を高めるよい機会になるので、働きかけていきたい。主権者教育の狙いは児童・生徒全員の参画意識を高めることを第一義としているため、一部の子どもだけが参加する子ども議会の開催は考えていない。議場を使ってのリーダー研修会は考えていない。

2. 鶴岡シルクタウンプロジェクト

シルクタウンプロジェクトについて、養蚕体験などの文化面、kibisoなどの産業面、松ヶ岡振興を含む観光面の成果と今後の見通しは。

◎企画部長の答弁

養蚕文化を伝えるために、幼稚園、保育園、小・中学校及び福祉施設などに蚕の飼育キットを配付して飼育体験を行う事業は6年目。48施設、約1,000名で実施。

鶴岡中央高校の生徒で結成するシルクガールズは5年目。繭から糸を取り、それらを織ってつくられた純鶴岡産の絹素材でのファッションショーを毎年開催し、マスコミ取材も多い。

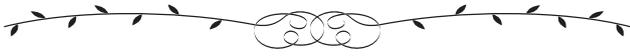
シルクサミットは平成14年度から隔年で4回開催し、市民の学習機会の創出、関連企業間の連携強化、全国の研究者やデザイナー等と地元シルク産業関係者とのネットワークづくりに貢献した。kibisoプロジェクトの展開にもつながった。今年度は鶴岡シルクの世界発信をテーマとするシンポジウムを11月に開催予定。

鶴岡の絹産業発祥の地である松ヶ岡史跡を歴史的風致維持向上計画の重点区域に位置づけ、新たな観光拠点としての再整備を検討している。市による財産取得と地元組織への指定管理による運営、維持管理に移行し、歴史遺産として保存しながら地域活性化につなげたい。

◎商工観光部長の答弁

kibisoプロジェクトは「絹産地の北限であり、一貫工程が地域内に残る全国でも希少な地域」というストーリーと製品の魅力が評価され、平成20年に国の地域資源活用事業の指定を受けた。特に昨年5月に銀座松屋で1ヶ月間開催した「鶴岡のきびそ・侍絹展」には約2万人が来場。

昨年6月の群馬県富岡製糸場の世界遺産登録を好機として、海外への販路拡大も目指すべく、10月のミラノ万博に鶴岡市として出展し、食文化とともに鶴岡シルクをPRする予定だ。



***インターンシップ生の活動レポートです。**

議員インターンシップ生の2名による議会傍聴レポートからご紹介します。特に一般質問の前半「18歳選挙権」については、お二人から調査・政策立案に協力して頂きました。

◇定例会傍聴レポート：

■議員インターンシップ生・小川さん

「ただ18歳選挙と云う言葉が云われたとき、議場が少しざわつきました。投票の特典のことが云われると後ろに座って一緒に傍聴していた小父さんが少し吹き出しました。何だか悪い事でもしてしまったかとも思いました。然しどちらかと云えば議場のどなたにとっても盲点らしくあったようです。そう云えばそんなこともあったな、と云う按排でした。それは取りも直さずその事はそれほど切実な案件として捉えて居ないと云う事を示唆しました。役人の答弁も、現行の主権者意識教育で充分ではないかと云うような調子が読まれました。そしてただ選挙により連関して来る年配者だけを主に配慮して、身近に迫ってくる問題を兎に角対処して行こう

じゃないかと云う形勢がありました。なるほど確かにもっと早急にすべき問題の方が多くありました。それを何とかしていくのが役人であり、議員である訳ですから、自然なことだとも思いました。」

◇産業建設常任委員会 傍聴レポート

■議員インターンシップ生・今野さん

「観光の話は私にとって興味深いものでした。鶴岡の大きな魅力である食文化、羽黒山などの精神文化、加茂水族館、城下町をうまく活用しようといった話でした。外国人観光客を目標人数に達成するにはどうするのか、羽黒山スキー場のアクセス問題、富裕層に鶴岡がウケにくいこと、加茂水族館のリピーター作りに向けた課題などが話されていました。田中市議は、加茂水族館のリピーター作りのために、年間パスポート作りや夜間オープン、歩道の整備を提案し、観光物産課長から真剣に考えるという内容が含まれた返答がありました。」

【今号目次】

- ・鶴岡市民歌制定委員会を傍聴
- ・新文化会館工事現場視察
- ・平成27年9月定例会一般質問報告
- ・インターンシップ生 レポート
- ・視察報告～函館市
- ・市民文教常任委員会へ

選挙権の18歳引き下げへの対策は
議員 若者の投票率向上のために、大学や商業施設に期日前投票所を設置しては、また、投票者への特典を設けてはどうか。
選挙管理委員長 4月の県議選でも20代の投票率は31%と低く、特に選挙啓発が必要である。国でも商業施設等への期日前投票所設置を議論している。投票者への特典は、一部事業者の営利活動に利用されるおそれがある。
議員 投票箱や記載台を小中学校に貸し出し、生徒会選挙等に活用しては。また、議場を活用



◆テーマ

1. 選挙権の18歳引き下げについて
 - (1) 若年層の低い投票率を改善する方策について
 - (2) 小中学生の政治参画意識を育む取り組みについて
2. 鶴岡シルクタウンプロジェクトについて
 - (1) 文化面について
 - (2) 産業面について
 - (3) 観光面について

つるおか市議会だより
平成27年9月定例会号

し「子ども議会」を開催しては、**教育長** 本物の投票箱や記載台の活用は、政治や選挙への関心を高める良い機会と捉え、活用を働きかけたい。児童生徒への主権者教育は、全員の参画意識を高めることが狙いであり、子ども議会の開催は考えていない。
シルクタウン鶴岡と産業振興は
議員 鶴岡シルクタウンプロジェクトの成果と今後の展開は。
企画部長 6年目の今年度は48施設で約千人の子供たちが蚕の飼育を体験し、市民参加のファッションショーも好評である。11月には鶴岡シルクの世界発信をテーマにシンポジウムを開催予定である。絹産業発祥の地「松ヶ岡史跡」を再興するため、市による財産取得も検討している。
商工観光部長 昨年は全国の百貨店など18会場で175日間出展し、鶴岡シルクを発信した。ミラノ万博では、鶴岡の食文化とともにキビソ製品もPRする。

視察報告 ～函館市

- 日時：2015年7月17日
- 訪問先：北海道函館市役所、函館市内
- 視察テーマ：都市景観形成地域
- 視察対応者：函館市 都市建設部まちづくり景観課 長谷部主査
- 視察団：産業建設常任委員会 委員会視察



1859年（安政6年）、函館は横浜・長崎とともに、いち早く海外に門戸を開いた。2度の大火を経験し、復興していく中で洋風様式や上下和洋折衷様式の民家などが数多く建築された。しかし昭和50年代、取り壊しやマンションの乱立などで、伝統的建造物の危機が訪れた。旧・北海道庁函館支庁の札幌移設への反対運動をきっかけに、歴史的町並み保存への気運が高まり、調査を経て、昭和63年に景観条例が制定された。「都市景観形成地域」の中には、北海道唯一の「伝統的建造物群保存地区」も含まれている。

◆歴史文化景観とは

函館らしい景観を形成している「歴史文化景観」は、以下の4つに分類される。

- (1) まちなみ景観＝歴史的な建築物群の連なり、歴史的な建築物がランドマークになる
- (2) 坂道景観＝坂を見下ろす時、見上げる時の海や山。坂道の両側のまちなみ
- (3) 水辺景観＝開放的な「波止場景観」、人工物に囲まれて閉鎖的な「堀割景観」
- (4) 地域外からの眺望景観＝函館山からの眺望、沖合から急斜面に段状に連なる建築物群を望む眺望



◆なぜ市長部局で所管しているのか

平成4年末までは教育委員会が所管していた。しかし、国とのやり取りの都合や、市民から見た分かりやすさを考慮して、都市建設部が所管するようになった。！

◆取り組みの現状

都市景観形成地域における「景観形成指定建築物」は48件。伝統的建造物群保存地区における「伝統的建造物」は75件が指定を受けている。それらの半数ほどは建築後100年以上が経過しているため、長期的な維持管理への計画策定に向けて、個々の建造物の老朽度調査を始めている。維持管理だけでなく、耐震化やバリアフリー化も課題である。

オーナーが高齢化しており、函館市外に住む子孫が引き継がない傾向があるため、オーナーと利用希望者をつなぐマッチング事業にも力を入れている。空き家となっている建物もあり、取り壊しだけでなく、利活用も検討している。

◆西部地区歴史的町並み基金

市の積立金や市民からの寄附で積み立てられた基金。1年に2千万円～3千万円ほど取り崩して、補助に充当している。伝統的建造物の補修には、毎年2000万円の予算で4～5件に補助している。順番は早い者勝ちでなく、優先度で決定している。基金独自で寄附を募ることができるので、ふるさと納税を充てる予定はない。

◆所感

北海道新幹線の開業を来春に控え、街中にポスターやノボリが見られた。仙台まで2時間というから、東北と北海道のアクセス向上にも寄与するだろう。明治初期に開拓使大判官を務めた松本十郎翁の地元鶴岡としても、函館・木古内エリアとの交流を深めるきっかけにしたい。(了)

市民文教常任委員会へ

鶴岡市議会では多くの議案を総務・市民文教・厚生・産業建設の4常任委員会に割り振って審議します。私はこれまで2年間所属した産業建設常任委員会から、市民文教常任委員会に移ります。

産業建設常任委員会では、鶴岡市の基幹産業である農業、新文化会館や校舎の改築、観光振興などの市政課題に取り組みました。

市民文教常任委員会は「市民部、消防機関、教育委員会の所管に属する事務」を担当。何度も一般質問で取り上げてきた防災や教育について、より深く掘り下げていきます！

ブログ ツイッター フェイスブック
BLOG / twitter / Facebook での情報発信も！

<http://tanaka-tsuruoka.net/>
http://twitter.com/tanaka_hiroshi
<http://www.facebook.com/tanaka.officefon>